

かごしま 労働者福祉だより

第750号

〔発行所〕
(一社)鹿児島県労働者福祉協議会
〒890-0064
鹿児島市鴨池新町5-7-6F
☎099-254-3832

〔発行人〕
下町 和三

〔印刷〕
南日本新聞開発センター
〔編集〕
県労福協、連合鹿児島、九州労金
こくみん共済 coop<全労済>、生協連
☆労福協だより
毎月15日に更新!!
鹿児島 労福協 検索

第94回メーデー鹿児島県中央集会を開催! メーデースローガン「支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる! 笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう!」

第94回メーデー鹿児島県中央集会は、4月29日(土)10時より天文館公園において、参加者・スタッフなどをはじめ、4年ぶりに約2,000人規模での開催となりました。

当日会場では、県労福協による福祉施設に未使用タオルを贈る「タオル一本運動」や食品ロス削減に向け、規格外農産物を販売する「野菜市」、こくみん共済coopによる「防災カフェ」、九州ろうきんによる「相談会」、金属部門連絡会による「親子deものづくり教室」、その他「射的やバルーンアート」など、家族で楽しめる催しも多く出店されました。

まず、主催者を代表してあいさつした連合鹿児島「下町和三」会長は、①ジェンダー平等、②組織拡大、③2023春季生活闘争などの課題に触れたのち、「現場や地域に根差し、不条理を許さず、尊厳ある労働と生活、平和を創る運動を展開することを訴えました。

引き続き、「下鶴隆央」鹿児島市長をはじめ、ご来賓よりあいさつを受け、最後に「労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求」などのメーデー宣言を全体で確認し、連合鹿児島地域協議会の「徳留克洋」議長の力強い団結ガンバロー三唱で無事に集会は閉会しました。

集会後は、4年ぶりになるデモ行進をおこない、これから佳境にはいる中小・地場企業における賃上げ、全国最下位にある最低賃金引き上げの実現など、すべての労働者の処遇改善に取り組む決意を市民にアピールしました。



第94回メーデー集会模様

畑の食品ロス削減を

今回のメーデー集会では、食品ロス削減運動の一環として「隠れ食品ロス(畑の食品ロス)」とされている規格外農産物(トマト、玉ねぎ、さつまいも、にら、にんにく等)を販売していくイベントを労福協、フードバンクかごしま、及び連合鹿児島、食とみどり、水を守る鹿児島県民の会と協働・連携して開催しました。多くの参加者のみなさまにご協力いただきました。



好評の規格外農産物の販売



ゴールデンウィークはコロナ前のように各観光地も賑わいを取り戻している。行き交う人々が楽しそうにしている風景は、コロナ禍前までは当たり前のものだった。私も子や孫たちと一緒に過ごせることができた。

世界保健機構(WHO)も5日に緊急事態宣言の終了を発表した。国内でも2020年から3年以上続いた特別な感染対策は、「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」から季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に

引き下げられた。なんとなくコロナ禍は収束した感が広がりつつあるが、2類になることで医療費負担が発生することになり、心配でも診察をしない人が増える可能性もある。医療関係者などからは市中感染が増え、これまで以上の感染拡大「第9波」を心配する声もだされている。コロナ禍前のような日常の生活や経済活動にするためにも、政府には国民が安心して暮らせる、心配な時に経済的負担なく診察できる体制を示してほしいと思う。同時に自分にできる手指の消毒など感染対策は引き続き気をつけていきたい。

「2023資産形成応援キャンペーン」実施中！

(一社)投資信託協会の「投資信託に関するアンケート調査報告書(2022年3月)」によると、投資信託の購入目的は「老後の生活資金(54.5%)」が最も高く、「人生100年時代」に備えるために「資産形成」への関心は年々高まっています。

こうきんでは、「資産所得倍増プラン」のもと、「しあわせ創造運動」の生活設計を推進するため、2023年5月1日(月)～2024年1月31日(水)の期間で「2023資産形成応援キャンペーン」を実施中です。

キャンペーンでは、右記の対象商品をご契約いただき、アンケートに回答のうえ、ご応募いただいたお客様の中より抽選で合計250名さまに、「リンベル カタログギフト／九州七つ星(10,000円相当)ひざかりコース」「リンベル カタログギフト／九州七つ星(5,000円相当)ひだまりコース」をプレゼントいたします。さらに、『2023年4月以降に当金庫で「NISA（一般NISA・つみたてNISA）口座」を開設いただいた方』かつ『開設した「NISA口座」を利用してキャンペーン期間中に投資信託（定期定額買付含む）を購入いただいた方』全員に、「現金1,000円」をプレゼント！

これからのお仕事について一緒に考えましょう！

対象商品、応募条件は右記のとおりです。

対象商品	
①財形預金またはエース預金または定期預金(こども未来応援定期含む)	期間中、新規預入金額の累計が20万円以上の方 ※退職者専用定期預金等および金利上乗せ商品は除きます。
②投資信託	期間中、1回の購入金額が10万円以上の方、または定期定額買付による購入額の合計が毎月5千円以上の方 ※I・B投信でのお取り引きも対象となります。
③個人向け国債	期間中、1回の購入金額が10万円以上の方
④iDeCo（個人型確定拠出年金）	当金庫で既にiDeCoのご契約がある方、または新規にご契約いただいた方 ※運用指図者は除きます。
⑤たんぽぽ認知症年金保険「たんぽぽプラス」	期間中、新規にご契約いただいた方 ※ご契約金額は問いません。



退職後もツカえる！ろうきんのサービス♪

うきんでは、退職後2年以内の方を対象に、1年定期で金利年0.2%（税引前）といへんおトクな「退職者専用定期預金」をご準備しています。なお、お取扱期間が2023年4月1日から2024年3月31日までとなっていますので、退職金の運用商品として、ぜひご利用ください。

くわしくは、九州ろうきんホームページ、または最寄りの各支店までお気軽にお問い合わせください。



社会貢献預金「こども未来応援定期」のご案内

社会貢献預金「こども未来応援定期」は、福祉金融機関としてのろうきんとはたらく仲間が連携し、未来を担うこどもたちを支援する取り組みです。定期預金作成の店頭表示金利より金庫所定の金利(0.1%)を引下げた金利を適用金利とし、その金利の引下げ幅分の利息相当額を「お客様の寄付額」とみなして、九州7県の「こどもたちを支援する団体」へ寄付する預金です。寄付金の使いみちは、こどもたちを支援するための、さまざまな費用として活用されています。この機会に、九州ろうきんで社会貢献活動をしてみませんか？



九州ろうきんは、労働金庫法に基づき設立された労働者のための福祉金融機関です。

九州ろうきんお客様サービス
専用フリーダイヤル
0120-796-210
【受付時間】平日 9:00～17:00
2023.4

言いたい劇場
小菅りや子



フードバンクかごしまと協働でベトナム人留学生への食糧支援を実施

鹿児島県労働者福祉協議会では「新型コロナ禍で困窮しているベトナム人留学生に対し、生活支援をしていくことで少しでも学習できる環境作りにつなげていく」ことを目的として中央労福協の「ろうふくエール基金」も活用しながら実施していくこととしました。

具体的には、NPO法人フードバンクかごしま(原田一世代表理事)、県日越友好協会(谷口学会長)の理解と協力をいただき、ベトナム・ネパールからの鹿児島県内への留学生に対する食糧の提供による支援活動を実施しました。

4月15日(土)10時から、九州労金鹿児島県本部5階大ホールにて、ベトナム・ネパール人留学生代表22人も参加する中で目録による贈呈を行いました。下町理事長から「取り組みの趣旨・支援の気持ち」、原田代表理事から「有意義な学生生活へのささやかな支援、鹿児島の学生との交流」、谷口会長から「これまでの感謝とこれからの関係づくり(含むベトナム領事館への支援の報告)」等についてあいさつがありました。

最後に留学生の代表者より「この度は私たち留学生のために、あたたかいご支援を頂きありがとうございます。心より感謝申し上げます。この支援は私たちの大きな励みとなります。これからも頑張っていきます。ベトナムと日本との友好関係にも繋がるものと思います。本当にありがとうございました」と心のこもった素敵な日本語であいさつしていただきました。「少しでも留学生のみなさんの支えになれば、そして鹿児島を好きになってもらえれば」との思いで実施しましたが、生き生きとした嬉しそうな表情に私たちが元気をもらいました。



「こくみん共済」誕生40周年！ 新たなサービス「こくみんLifeサポート」「公式アプリ」が始まりました！

こくみん共済 coopでは、「こくみん共済」販売開始から40周年の節目にこれまでの感謝の気持ちを込めて2023年5月より「こくみんLifeサポート」をスタートしました。

保障設計のお手伝いはもちろん、もしもに対する事前の備えや事後のフォロー、毎日の生活やライフイベントに至るまで、安心のサービスやお得な特典でくらしを丸ごとサポートします。



安心の保障と生活応援であなたのくらしをまるる
こくみん Lifeサポート
こくみん共済発売開始から40周年の節目に
これまでの感謝の気持ちを込めて、「こくみん Lifeサポート」がスタート！

安心の保障／
保障設計サポート

一人一人に寄り添った
最適な保障設計をサポート

ご自身で
アプリ WEB

こくみん共済 coopのスタッフ
対面 オンライン

生活応援／
生活設計サポート

組合員特典価格等でもしもの
事前・事後や生活全般をサポート

約18万種類のサービス

オリジナルメニュー
事前の備え
事後のフォロー
ライフイベントのサポート

往診
ドライブレコーダー取付
介護相談
結婚お祝い制度

週に1度のスペシャル特典
「すご得！」

毎週水曜日18時に
お得なサービスが更新されます！

サプライズ価格が
ぞくぞく登場！

※記載のサービスは一例で、画像はイメージです。

くらしをトータルにサポート！

「こくみん Lifeサポート」は、保障設計のお手伝いはもちろん、もしもの事前の備えや事後のフォロー、いつもの生活やライフイベントに至るまで、お得な特典や安心のサービスでくらしを丸ごとサポートします！

こくみん Lifeサポート

人 家 車

共済

保障設計サポート

生活全般

生活設計サポート

「こくみん Lifeサポート」の詳細や、アプリの利用、登録はこちらをチェック！

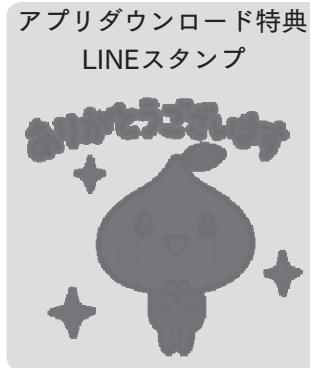
※生活設計サポートはこくみん共済 coopの組合員の方でマイページのご登録をいただくことでご利用できます。
マイページ未登録の方は公式アプリ・WEBサイトからご登録いただけます。
※生活設計サポートはWEBサイト（PC等）からご利用いただけます。
※生活設計サポートの各サービス内訳・イラストはイメージです。予告なく変更する可能性があります。

たすけあいの輪をむすび

QRコード

こくみん共済（全労済）

＼さまざまな企画もリリース予定！／



アプリユーザー限定！
47都道府県のご当地
ピットくんコンテンツ



報告

「ぼうさいカフェinかごしま」の開催

「ぼうさいカフェ inかごしま」を4月29日(土)に天文館公園で開催しました。当日は「連合鹿児島第94回メーデー鹿児島県中央集会」内で開催し、過去の防災パネルや防災関連グッズの展示、VR(仮想現実)での地震体験などを行いました。

今回初めてVR(仮想現実)を用いた地震体験を準備し、多くの方々にブースへお越しいただきました。

「ぼうさいカフェ」は、内閣府が防災知識普及モデル事業として、社会全体の防災力向上や国民の防災意識を高めるために推進している取り組みです。

地震などの自然災害に対する備えや知識、大切な人や大事な財産を守る術をお伝えする場であり、こくみん共済 coop においてもイベント時に防災グッズを展示するなど、2010年度から「ぼうさいカフェ」を開催しています。



当日の様子



VR 地震体験の様子

新型コロナウイルス感染症「みなし入院」等の特別取り扱いの終了について

2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が現在の2類感染症相当から季節性インフルエンザ・麻疹・風疹と同じ5類感染症へ変更されることとなりました。

このような状況をふまえ、こくみん共済 coop は、「新型コロナウイルス感染症」に関する特別取り扱いを終了することとしました。

2022年9月26日以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方は重症化リスクの高い方に限り、病気入院共済金のお支払い対象としていましたが、この取り扱いを終了します。

2023年5月8日以降に新型コロナウイルス感染症と診断を受けた場合には、他の病気と同様に医療機関に入院された場合のみお支払いの対象となります。

【参考】新型コロナウイルス感染症と診断された場合のご請求範囲

ケース	陽性判明日(診断年月日)		
	2022年9月25日まで	2022年9月26日～2023年5月7日まで	2023年5月8日以降
入院された方	○	○	○
宿泊療養・自宅療養された場合 (みなし入院)	○	○	×
重症化リスクの高い方 上記以外の方	○	×	×

○：支払対象

×：支払対象外

詳細についてはこくみん共済 coop ホームページよりご確認ください。

「屋久島歴史探訪」を開催！

熊毛地域労福協

熊毛地域労働者福祉協議会は、2月23日(木・祝)、屋久島民族資料館で屋久島地区歴史探訪を開催しました。当日は、同資料館の職員の方が屋久島の歴史や文化について丁寧に説明。天候にも恵まれ、屋外でのまき割り体験も行われました。

今回は20名が参加し、屋久島の歴史に触れる貴重な体験の場となりました。



天気が良く、外で記念撮影

「ライフプランセミナー」を開催

姶良伊佐地域労福協



皆さま、真剣なまなざしです

姶良伊佐地域労働者福祉協議会は3月18日(土)、九州労働金庫霧島支店で「ライフプランセミナー」を開催しました。

当日は姶良・伊佐地区から20名が参加し、こくみん

共済coopのファイナンシャルプランナー宮内さんによる講演「ゆとりあるセカンドライフのために」を聴講。また、同支店の大江次長が「未来予想図を描き、夢のための一歩を踏み出そう」と、世代ごとのライフイベントへの備えについて説明し、役立つ商品やサービスを紹介しました。

セミナーの最後には、県労福協の片野田専務理事が労福協の歴史や役割などについて話しました。終了後、参加者からは「知らなかつたことが多く、保険を見直してみたい」「資料を基に職場の後輩にもアドバイスしたい」といった感想が聞かれました。

「屋久島地区ニュースポーツ大会」を開催！

熊毛地域労福協・労金屋久島地区推進委員会

熊毛地域労働者福祉協議会と労金屋久島地区推進委員会は2月23日(木・祝)、宮之浦総合体育館でニュースポーツ大会を開催しました。

当日は40名が参加して、ボッチャを体験し、初めての人も講師の助けを借りながら競技を楽しみ、有意義な時間を過ごしていました。コロナ禍で3年ぶりのイベント開催となりましたが、これからはイベントを定期的に開催していく予定です。



子どもたちもボッチャに参加

「歴史探訪講座」を開催！

鹿児島地域労福協

鹿児島地域労働者福祉協議会は3月18日(土)、第16回歴史探訪講座を開催しました。

当日は、家族連れを含む組合員や退職者会会員24名が参加。朝までの雨も上がり、1日かけて塩浸温泉龍馬公園から霧島神宮、霧島神話の里公園、鹿児島県上野原縄文の森公園を巡り、ガイドの方に丁寧な解説を受けながら案内してもらいました。昨年、国宝に認定された霧島神宮では、霧島シルバー観光ガイドの徳丸さん、春口



さんに霧島神宮の歴史や見どころなどを解説していただきました。上野原縄文の森公園では、歴史を感じながら桜や春の景色を満喫し、参加者は充実した表情を浮かべていました。

観光ガイドの説明を熱心に聞く参加者の皆さん

「タオルでつなぐ支え合いの輪」3年目のタオル一本運動を展開！ 「各地域のメーデー集会で1734本」が寄せられました。

鹿児島県労働者福祉協議会は、①「継続できる・地域のためになる・参加しやすい」社会参加型の取り組みとしていく。②「社会の力になりたい」気持ちを組織としての運動につなげていく。③運動を通じて社会的ネットワークの拡充・認知度向上につなげていく。一ことを基本的な考え方として、連合鹿児島・各福祉事業団体の理解と協力をいただきながら「タオル一本運動」を取り組みました。

具体的には、未使用のタオルをメーデー会場に持ち寄っていただき、高齢者施設へ寄付していくこととしています。

今回も、多くのみなさんから「優しい・あたたかい気持ち」が寄せられました。ありがとうございました。

メーデー集会時の集約は下記のとおりです。

地区名	集約枚数	地区名	集約枚数
鹿児島(中央集会)	385	大隅	163
南薩	155	熊毛	327
北薩	377	奄美	33
姶良伊佐	294	合計	1734



やさしい気持ちを受け取りました

